

後期基本計画

重点目標 1

少子化対策と次代を担う人材の育成

政策 **1** 結婚から子育てまで切れ目ない支援

政策 **2** 教育の充実

重点目標 1

少子化対策と次代を担う人材の育成

基本方針

子どもたちが心身ともに健やかに育つとともに、親も安心して子どもを産み育て、子育ての喜びを感じながら子どもと共に成長していく「育てて育つ」の子育て支援を行い、ここで子育てを楽しみたい、暮らしたいと思える環境の実現を目指します。

伊豆市独自の魅力ある学校運営を行い、児童生徒が生き生きと充実した学校生活を送るとともに、将来の夢や希望を育み、良識ある大人として成長していくための教育環境の実現を目指します。

政策イメージ

子育てしたい、学びたいまち

結婚から子育てまで切れ目ない支援

安心して結婚・出産・子育てができる環境づくり

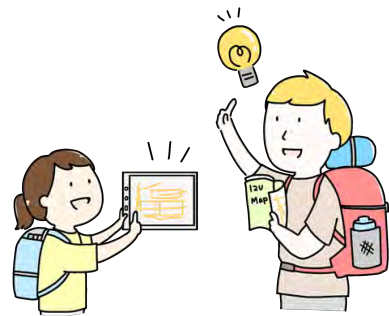


参加しやすい婚活／
地域とのあたたかいつながり／
行政の手厚いサポート／良好な住環境／
移住したい人の希望をかなえる／
暮らしの魅力を発信



教育の充実

子ども達が健やかに
学び育つ教育環境の充実



知・徳・体を磨く教育／生きる力を育む／
様々な学びの場づくり／通いたくなる学校／
生き生きと打ち込める部活／
市独自の幼児教育



政策 1 結婚から子育てまで切れ目ない支援

結婚や家庭を持つことへの夢を抱き、その夢を叶えることができるよう、出会いの支援を行うとともに、妊娠・出産・子育てを通じてきめ細かな支援を行い、子育て環境の充実を図ります。

また、移住・定住に関する各種支援策を展開するとともに、本市の魅力向上や心地よい居住環境の創出に努め、さらなる移住・定住を促進します。

政策目標

◎ 安心して結婚・出産・子育てができる環境づくり

具体的
イメージ

子育て環境に対する満足度 ▶ 向上

R2 基準値：42.1%（令和 2 年度市民アンケート結果より）

結婚や子育てに伴う若者の転入者 ▶ 増加

R2 基準値：20～39 歳転入者数 366 人

政策 2 教育の充実

児童生徒の可能性を広げるため、多様化する社会の中で良識ある一人の人間として成長していけるための教育環境づくりを展開していきます。

また、確かな学力（知）・豊かな心と人間性（徳）・健やかな体（体）を育むことができる教育環境の整備を行い、「新時代の新たな学校づくり」に取り組みます。

政策目標

◎ 子ども達が健やかに学び育つ教育環境の充実

具体的
イメージ

教育環境に対する満足度 ▶ 向上

R2 基準値：36.7%（令和 2 年度市民アンケート結果より）

ICT を活用した地域や学校間の連携 ▶ 強化

R2 基準値：実施回数 2 回

政策 1 結婚から子育てまで切れ目ない支援

施策 1 少子化突破と「育てて育つ」の推進



本市の現状

- 😊 市では、県内トップクラスの子育て支援を実施
- 😊 2～3人子どもがいる家庭が多い
- 😊 子育て世代は本市の子育てサービスに満足している（特に保育まで）
- 😞 未婚率が高い
（男性（30～34歳）56.4%＝県内ワースト5位、女性（25歳～29歳）69.8%＝県内ワースト1位【平成27年国勢調査】）
- 😞 他市町にイメージ負けしてしまっている

市民と共有したいありたい姿

- ◎ 地域とのあたたかいつながり、行政の子育て支援などにより、「伊豆市で子育てしたい」と本市の子育て環境が選ばれる
- 結婚や子育てに関心を持つ人が増え、結婚や子育ての希望が叶う
- 「伊豆市は子育てしやすいまちだ」と市民の実感を得られる
- 親子で楽しい子育てができる

改善



より良く



少子化突破に向けた3つの作戦

作戦 1

未婚解消に向けた
出会い・婚活支援を
行います

作戦 2

みんなが笑顔になる
子育て支援を
行います

作戦 3

伊豆市のよさを発信する
プロモーションを
行います



ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ

※主な取組についての具体的内容は、資料編 115 ページに記述しています
 ※「▶」は各部局における重点事業

作戦 1 出会い・婚活への支援

本市の少子化における大きな要因となっている未婚率の高さを解消するため、入口である「出会い」や「結婚」の機会づくりを行い、結婚から妊娠・出産・子育てまでのトータルな支援を推進します。

◎主な取組

- ▶ 婚活事業者のノウハウを活用したイベントの実施
- ▶ AIを活用した婚活マッチング支援
 ブライダル事業者と連携した出会いの場の支援

【主な担当課】

地域づくり課／企画財政課／子育て支援課

作戦 2 「育てて育つ」のみんなが笑顔になる子育て支援

本市の子育てのキャッチフレーズ「育てて育つ」のもと、行政や地域によるサポート、つながる場の創出などにより、子育ては一人ではないという安心感、ゆとりや幸せを実感できる子育て支援を推進します。

◎主な取組

- 地域で子育てを支える人材や団体の育成
- 子育てママの居場所の創出
 (生きいきプラザの拠点化)
- 放課後の子どもの居場所づくりの推進

【主な担当課】

子育て支援課／学校教育課／地域づくり課／企画財政課

作戦 3 伊豆市の魅力を発信するプロモーション

本市の充実した子育てや教育環境、くらしの魅力などを市内外に効果的に発信し、市民には「住み続けたいまち」、市外の方々には「住んでみたいまち」だと実感していただけるプロモーションに力を入れていきます。

◎主な取組

- 生き生きとした高齢者の姿に若者世代が希望を抱けるプロモーションの推進
- 市民と一緒に伊豆市のよさを発信できる「#伊豆市いいね」※など、SNS の有効活用
- 子育てや移住・定住を促進する大型看板やデジタルサイネージの設置と PR

【主な担当課】

企画財政課／子育て支援課／社会教育課／地域づくり課

※「#伊豆市いいね」

SNS を通じて、伊豆市の風景やグルメなどの写真や動画に「#伊豆市いいね」をつけて発信し、みんなで伊豆市を PR する取組。

政策 1 結婚から子育てまで切れ目ない支援

施策 2 若者・ファミリー層の移住・定住の促進



本市の現状

- 😊 若者定住補助金が効果を出している
(H22 の運用開始から R2 までの期間で合計 377 件 1,388 人が利用。市内：239 件 929 人、市外：138 件 459 人)
- 😊 お試し住宅を 31 件の利用のうち、5 件の移住が実現 (R1、2 実績)
- 😊 都市計画の見直しにより、鉄道駅から約 1km 圏内への住宅立地件数が増加 (H28～R2 実績：延べ 50 件)
- 😞 農地などの規制により、住宅開発できる土地が少ない
- 😞 空き家のストックが少ない
(空き家は多くあるが、貸してもらえない)

市民と共有したいありたい姿

- ◎ 都会・街中にはない地域の人や自然の豊かさといった魅力に気づき「伊豆市に住みたい」と選ばれる
- 自分の住んでいる地域を愛し、そこでライフスタイルを楽しんでいる人が増える
- 若者の移住・定住がさらに進む
- 居住環境が整っていて、子どもやファミリー層が安心して暮らしていける

改善



より良く



移住・定住の促進に向けた 2 つの作戦

作戦 1

移住希望者に柔軟に対応できるように、取組を拡充します

作戦 2

良好な居住環境の整備と空き家の積極的な活用を行います



ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ

※主な取組についての具体的内容は、資料編 116 ページに記述しています
※「▶」は各部局における重点事業

作戦 1 移住・定住のさらなる促進に向けた柔軟な対応

若者やファミリー層の移住・定住促進のための住宅補助・家賃補助の継続に加え、移住希望者に対して、柔軟な対応ができる窓口機能の強化、充実を図ります。

また、土肥地区に設置した「海の見えるお試し住宅」を拡充し、中山間地の魅力を実感できる「美しい邑のお試し住宅」を新たに設置するなど、Iターン、Uターンも含めたさらなる移住・定住の促進を図っていきます。

【主な担当課】

地域づくり課／資産経営課／企画財政課

◎主な取組

▶さらなる移住希望者獲得に向けた“美しい邑のお試し住宅”の創出

さらなる移住・定住に向けた若者定住施策の拡充

ひとり親の受け入れに対する対象職種の拡充

移住者が安心できるフォローアップ

作戦 2 良好な居住環境の整備と空き家の積極的な活用

人口が減っていく中においても都市機能を維持するためには、一定の居住人口の確保が重要となります。そのため、鉄道駅周辺や小学校のある土肥地区、青羽根地区、八幡地区周辺といった拠点性の高いエリアに、病院、スーパーマーケット、学校、公共施設などの日常生活に欠かせない機能を集約するとともに、新たな住宅地の創出や活用可能な空き家を重点的に活用していきます。

【主な担当課】

都市計画課／地域づくり課／企画財政課／資産経営課

◎主な取組

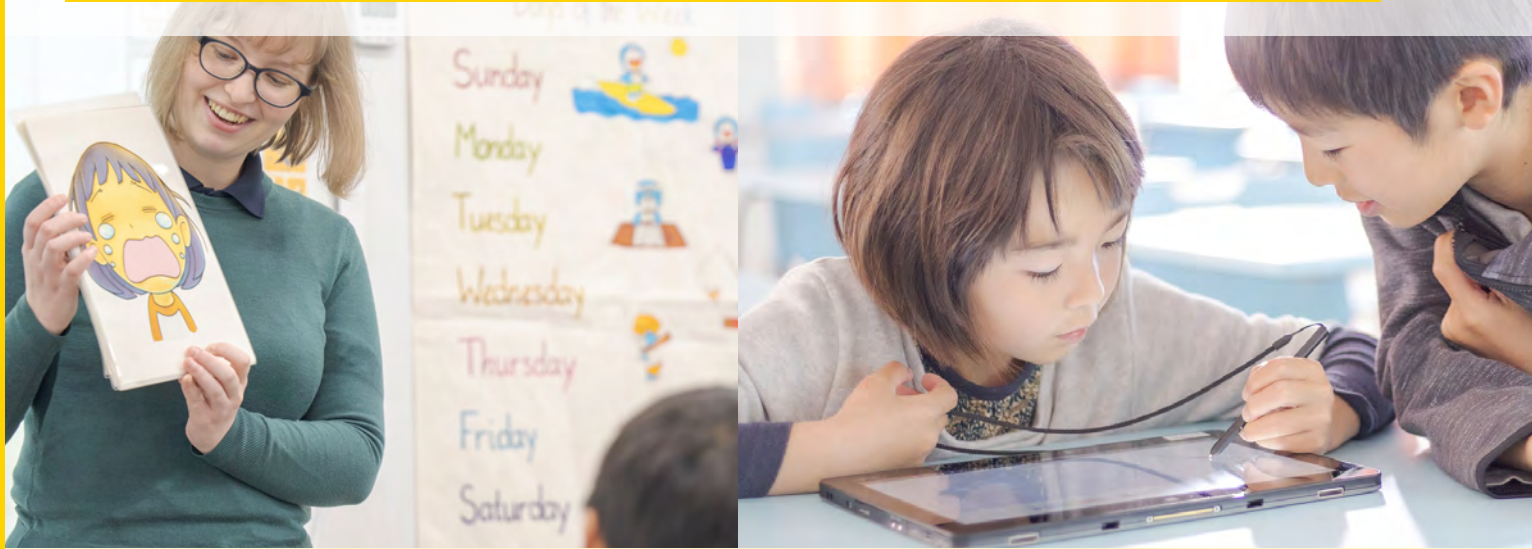
▶鉄道駅周辺や土肥地区・青羽根地区・八幡地区周辺への住宅地の創出

鉄道駅周辺や土肥地区・青羽根地区・八幡地区周辺にある活用可能空き家の積極的な活用

片づけやリフォーム補助による空き家活用の推進

政策 2 教育の充実

施策 1 多様化する社会に対応する教育環境づくり



本市の現状

- 😊 7名のALT※1による充実した英語教育を実施中
- 😞 一人一台 PC 導入済。今後の ICT 教育※2 の運用にビジョンが必要
- 😞 さらなる子育て支援として、保育期における“伊豆市の教育の特色”を明確にする必要がある
- 😞 児童発達支援センターの運営ビジョンを明確にする必要がある
- 😞 充実した総合学習を実施しているが、新たに実学教育※3 にかける時間の確保が課題

市民と共有したいありたい姿

- ◎ 英語や ICT 教育など伊豆市ならではの教育の特色を展開し、子どもの「知・徳・体」がしっかり磨かれ、人として生きる力が育まれている
- 伊豆市の教育環境が子育て世代に共感され、転入も含めて子どもの数が増えていく
- 地域や家庭が学校と一体となって、次代を担う子どもを育成している

改善



より良く



より良い教育環境づくりに向けた 2 つの作戦

作戦 1

多様化する社会でより良く生きていくための教育環境づくりを行います

作戦 2

市独自の一貫した教育を行うため、幼児教育と学校教育の連携を強化します



ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ

※主な取組についての具体的内容は、資料編 117 ページに記述しています
 ※「▶」は各部局における重点事業

作戦 1 社会でより良く生きていくための教育環境づくり

児童生徒の主体的・対話的な学びを尊重するとともに、多様な価値観の理解、自ら課題を設定していく能力の習得を目指します。また、本物に触れる体験や経験により、人生の幅を広げ、確かな生きる力を育むための実学教育を支援するとともに、基礎学力の確実な定着・向上を図るための支援を行います。

【主な担当課】

学校教育課／社会教育課／企画財政課

◎主な取組

▶“EdTech”※4 (エドテック) 教育の推進による学びの機会の拡充

伊豆市独自の ALT による英語教育の推進

“魅力化チーム会議”※5 での充実した学びの探求

作戦 2 幼児教育と学校教育の連携強化

子どもの顔が見える一貫した子育て相談体制を構築し、子どもの成長に関する保護者の悩みや不安を軽減します。また、こども園や保育園から小学校、小学校から中学校への円滑に接続や、子どもたちのスムーズな学びの実現を図ります。さらに、小さい時から体操教室や ALT による英語教育を行うなど、伊豆市独自の幼児教育を確立します。

【主な担当課】

子育て支援課／学校教育課

◎主な取組

幼小中連携したワンストップ相談窓口の開設

幼児期からの知育・体育の推進

児童発達支援センターによる適切な支援

※1 ALT

日本人教師の補佐を行う、外国語を母国語とする外国語指導助手。

※2 ICT 教育

教育現場において情報通信技術を活用した取組。

※3 実学教育

実験や体験を通じて疑問や課題を発見し、自らの力で解決をすることで、将来社会に出たときに実践できる考え方や知識を身につけるための教育。

※4 EdTech

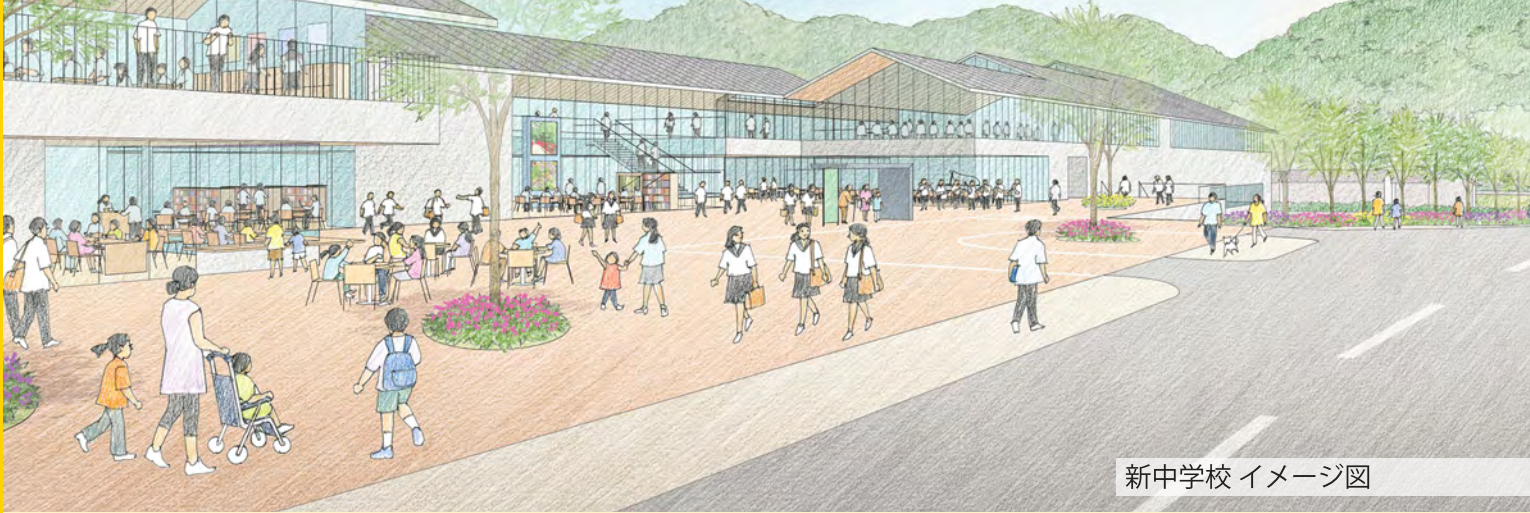
Education (教育) と Technology (テクノロジー) を組み合わせた造語。学びにつながるアプリサービスの活用や、オンラインでの学習などの ICT ツールを活用し、よりよい学びを子ども達に与えるもの。

※5 魅力化チーム会議

学びを深める工夫や、連携教育を推進するための、伊豆市独自の教職員研修の名称。

政策 2 教育の充実

施策 2 未来を拓く子どもたちを育む学校環境づくり



新中学校 イメージ図

本市の現状

- 😊 学校支援員が数多く配置され、児童生徒のきめ細かなフォローを実施中
- 😊 他市町より手厚いバス通学の支援を実施中
- 😞 小中学校ともクラス替えができない学年が発生している
- 😞 部活動において、合同チームでの活動が発生している
- 😞 児童生徒数の減少により、教科担任の確保が難しい状況
- 😞 登下校の際のバスを待つ環境や歩行者空間の安全性が十分でない

市民と共有したいありたい姿

- ◎ 一定規模の集団の中で伸び伸びと学べ、切磋琢磨できる教育環境が整備されている
- 多様な外部講師により、児童生徒の様々な学びの場がある
- 部活動に生き生きと打ち込める環境がある
- 安心して学校に通える環境が整備され、不便なく登下校できる

改善



より良く



より良い学校環境に向けた 2 つの作戦

作戦 1

子どもたちが通いたくなる
魅力ある学校づくりを
行います

作戦 2

安全安心な通学環境の
整備を行います



ありたい姿を実現するための作戦ラインナップ

※主な取組についての具体的内容は、資料編 118 ページに記述しています
 ※「▶」は各部局における重点事業

作戦 1 新中学校づくりと小中・義務教育学校の教育の充実

修善寺、天城、中伊豆の 3 校のアイデンティティを継承し、新しい魅力を生み出す新中学校を整備するとともに、未来を拓く子どもたちを育む教育環境を創出し、学校間の連携教育を充実させます。

また、各小中学校を中心に、地域の多様な人材の活用や児童生徒の地域活動への参加などにより、地域と学校の交流を促進します。

【主な担当課】

学校教育課／建設課／企画財政課／新中学校WG

◎主な取組

- ▶新中学校の建設
(令和 7 年 4 月開校予定)
- ▶子どもの生きる力を育む“実学教育”の支援

新たな学びを生み出す学校間
連携教育の充実

作戦 2 安全安心な通学環境の整備

PTA、警察、交通安全指導員、道路管理者、学校、教育委員会などの関係機関と連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図ります。

また、新中学校の通学に際し、各地区の生徒が安心して登下校できるような環境整備に努めます。

【主な担当課】

学校教育課／建設課／地域づくり課／新中学校WG

◎主な取組

- ▶市内学校におけるバス待ち環境の整備

通学に関するバス路線の整備

通学路環境の整備

新中学校における自転車通学環境の整備

#子どもの名前覚えてるよ
#伊豆市いいね

#大きくなったね
#すくすく成長

#伊豆市の保健師

はじめての育児も、もう安心。
あなたのそばには私が寄り添う。
子育てのこと、ママ友づくりのこと、なんでも相談。

育てて育つ 伊豆市

あなたはひとりじゃない。
人とつながり、自然とつながる。
はじめよう、ここで子育て。

#伊豆市いいね

@FAMILYIZU
#ハッピー子育て

◆虹の郷

#イロイロ
#モヤモヤ
#みんなであそぶ

育てて育つ 伊豆市

#思いやり横断日本一
#地域で守る

#伊豆市いいね

#子どもの見守り
#いつもありがとう

おじいちゃん、いつも見守りありがとう。
僕たちも、そんなおじいちゃんから学んだよ。
横断歩道を渡ったら車に対してありがとう。

育てて育つ 伊豆市

#学校でAnytime,English!
#伊豆市いいね
#いつでも一様ALIT

#最先端!
#ICT教育

#パナソニック電子黒板
#わくわく楽しい

ALTが1日中いるから、
給食も、清掃も、休み時間もいつでも一様!

育てて育つ 伊豆市

君ならできる。
逆上がり？跳び箱？どんとこい！
君が本気なら大人も本気だ。

#スポーツ推進委員

#伊豆市いいね
#子どもを全力サポート

#逆上がり
#どんとこい

育てて育つ 伊豆市

今日も元気に行ってきます！
通学補助で家族も安心、家計も安心。

#伊豆市いいね
#通学安心

#小中学生
#バスも電車も補助します！
#学校まで片道2km以上
#高校生にもバス補助

◆修善寺駅

育てて育つ 伊豆市

#持ち家率県内NO.1
#伊豆市いいね

#のびのび楽しい

「いってきます」
「いってらっしゃい」
家族の絆を深める家。
ここに 있습니다。

#伊豆市に住もう

#家を建てたら100万円
#子どもの数でプラス10万円!

育てて育つ 伊豆市

育てて育つ

親も
子どもも
つながりも
みんなで育てて
みんなで育つ

かけがえのない瞬間をここで
伊豆市

#伊豆市いいね



「育てて育つプロモーション（大型看板）」